

劣化拓本文字の半自動修復システム

胡 金 玲 倉 田 是
八重樫 純 樹

-
- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. ま え が き | 4. 文 字 の 修 復 |
| 2. シ ス テ ム の 概 要 | 5. ま と め |
| 3. 標 準 筆 画 フォ ン ト | |
-

— 論 文 要 旨 —

劣化拓本文字の半自動修復システムを開発した。本システムは劣化文字と同様なスタイルを有する標準ストロークフォントを用いた。フォントデータは輪郭の主要な点の座標情報である。これらの点は筆画の形を制御可能であるので、制御点とする。制御点のうち、筆画の幅、長さ、及び曲がり具合を主に決定する点を主制御点とし、他は副制御点とする。筆画を生成するとき、まず主制御点を修復する部分の特徴に合わせて入力する。次に主制御点とフォントデータによって副制御点を自動的に換算する。最後に、制御点を3次スプライン補間して、輪郭を作り出す。

本システムに関する研究主題は修復する文字の筆画の分類、各筆画の標準フォント生成と、スプライン補完、及び標準フォントを利用する文字の修復である。以下、これらを中心にシステムを説明し、最後に実験例を示す。